

2020年6月29日

DRONE FUND

## DRONE FUND が、ドローンに特化したパラシュートを開発する カナダの AVSS へ出資を実行

DRONE FUND(本社:東京都渋谷区、代表:千葉 功太郎、大前 創希、以下:ドローンファンド)は、Aerial Vehicle Safety Solutions Inc.(本社:カナダ ニューブランズウィック州、CEO: Josh Ogden、以下:AVSS)へ、DRONE FUND 2号(正式名称:千葉道場ドローン部 2号投資事業有限責任組合)より出資を実行しました。



### 【AVSSについて】

AVSSは、産業用ドローンへの搭載および運用が簡易な独自のパラシュート・システムを開発する、2017年創業のカナダ発スタートアップです。そのソリューションの特長は、業界初のテクノロジーを採用したパラシュート・ポッド(Parachute Pod™)にあります。これはパラシュートの射出方式にバネを採用しており、リパッキングのためのダウンタイムとコストを必要としません。

これにより第三者上空の飛行にともなうリスクを減らすばかりでなく、たとえば火気の使用が制限されたプラント等の危険なエリアやユースケースにおいても、パラシュート付きのより安全なドローンの導入が可能となります。

## 【今回の出資について】

新型コロナウイルスの感染拡大をうけて、物流領域におけるドローンの可能性には改めて注目が集まっています。しかし将来的にさらに多くのドローンが私たちの頭上を飛ぶことを想定した場合、機体面から操縦面、そして運行面に至るまで、あらゆる角度から安全策を重ねなければなりません。これは地上の第三者の安全確保に限らず、ドローン事業のサービサーが機体を長く安全に運用していく上で重要な観点です。

ドローンのパラシュートは、運行上のリスクを減らせ、安全性を確立するための方法の一つとして国際的な注目を集めており、ドローンファンドとしてもその重要性が今後ますます高まると見込んでいます。EUには取り付けが義務づけられている国も多く、また義務付けられていないアメリカでも、承認を受けている第三者飛行申請の多くがパラシュート付きの機体によるオペレーションであるということが分かっています。現在、日本には取り付け義務などを伴う法規制はありませんが、レベル4(有人地帯における目視外飛行)の解禁にむけて、これらの装備や保険サービスなどの重要性も高まってくると考えます。

より安全でより信頼性のあるドローンの社会実装を推進するにあたり、Josh Boudreau、Josh Ogden、Mariah Murray の率いる AVSS のテクノロジーと情熱、そしてビジョンを高く評価し、ドローンファンドはこの度の出資を決定いたしました。ドローンファンドは今後も「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現に向けて、ドローンの利活用による便益とその安全性の双方を両立することのできるテクノロジー、ソリューションへの投資を加速してまいります。

### ■AVSS 概要

- 社名: Aerial Vehicle Safety Solutions Inc.
- CEO: Josh Ogden
- 所在地: New Brunswick, Canada
- 設立: 2017 年
- URL: <https://www.avss.co/>

### ■ドローンファンド 概要

ドローンファンドは、ドローン関連のスタートアップに特化したベンチャーキャピタルとして 2017 年 6 月に千葉功太郎により設立されました。現在、2 号ファンドにおいては、「ドローン前提社会」と「エアモビリティ社会」の実現をテーマに、国内外での投資を行っております。

- 略名称: DRONE FUND (ドローンファンド)
- 正式名称: 千葉道場ドローン部 2 号投資事業有限責任組合
- 運営会社: DRONE FUND 株式会社
- 代表者: 千葉 功太郎、大前 創希
- 所在地: 東京都渋谷区恵比寿 3-3-6 滝澤ビル 3F
- 設立: 2018 年 8 月
- 事業内容: ドローン、エアモビリティ関連への投資及び協業支援
- ウェブサイト: <http://dronefund.vc>

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

- DRONE FUND 広報担当: pr@dronefund.vc